

■八尾市都市基盤施設維持管理推進会議（第3回）議事録

日 時：令和元年5月24日(金) 16:00～17:15

場 所：八尾市役所 西館 4階和室 1,2

出席者：近畿大学工学部 米田教授、東山教授

八尾市都市整備部 19名

=====

◎次第

1. 報告事項

- (1) 八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み（平成30年度）について

2. 議事

- (1) 平成30年度の維持管理（行動計画）の実績評価について [議案1]
(2) 令和元年度の維持管理（行動計画）の行動目標について [議案2]
(3) 令和元年度の八尾市と近畿大学との官学連携の取り組みについて [議案3]

3. 意見交換

=====

◎協議録（詳細）

1. 報告事項

- (1) 八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み（平成30年度）について

※別紙参照（平成30年度の取り組み報告）

2. 議事

- (1) 平成30年度の維持管理（行動計画）の実績評価について [議案1]

<事務局：説明>

【土木建設課】

- ・昨年度は所属長会議を1回、担当者会議を2回、近畿大学との個別協議については計5回実施した。
- ・八尾市と近畿大学とのさらなる連携を深めていくための包括連携協定、及び社会環境工学科との連携に関する実施細則を締結した。(H30.6.1)
- ・「市職員による橋梁の日常点検」をテーマにした八尾市管理橋梁を対象とした研修会を実施した。
- ・市内（全478橋）について、市職員による日常点検（定期パトロール）を実施した。
- ・現行体制で執行可能な維持管理（点検、診断）を実践するための、（八尾市版）橋梁定期点検マニュアル（素案）を作成した。
- ・地元業者への複数年一括発注など、限られた条件での管理運営手法の検討を行った。
- ・高安11号橋（跨線橋）の撤去について地元調整を行い、公共ストックの適正管理に取り組んだ。
- ・大阪府が策定した「ため池防災・減災アクションプラン」に基づき、ため池耐震診断を実施した。
- ・JR八尾駅、JR久宝寺駅の自由通路について、公共施設マネジメントによる検討を行った。

【土木管理事務所】

- ・市職員や民間委託による道路・河川・公園施設の日常点検（パトロール）を実施した。
- ・広報チラシ「NEWS都市整備」を通じ、積極的に都市基盤施設の維持管理の必要性をPRした。

【土木管財課】

- ・「工事履歴」や「要望・通報」データの台帳システムへの入力作業を行った。
- ・駅前に周辺案内地図（広告付き案内看板）を設置し、新たな財源の歳入確保に努めた。
- ・沿道地権者への里道、水路敷の販売促進を行い、法定外公共物の減量化に取り組んだ。
- ・将来的な老朽化が懸念される所有者不明の橋梁、及び個人橋梁の扱いについて検討を行った。

【都市政策課】

- ・まちなみセンターの指定管理者制度について、公共施設マネジメントによる検討を行った。

【交通対策課】

- ・自転車駐車場の指定管理者制度について、修繕・改修計画の検討を行った。

【都市基盤整備課】

- ・先行取得用地の適正な維持管理について、定期的なパトロールを実施した。

【みどり課】

- ・継続的なアドプト（愛護）活動による公園施設の維持管理を行った。
- ・近隣公園施設のネットワーク化による公共施設の削減検討を行った。

【下水道管理課】

- ・下水道事業における PPP、PFI 手法の導入に関する職場研修会を実施した。
- ・修繕履歴等のデータベース化の検討を行った。
- ・定期点検については、平成 30 年実績で、点検 23.4km、調査 3.4km について実施済。
- ・八尾市公共下水道ストックマネジメント計画（実施方針）に基づく、計画的な維持管理に取り組んだ。

(2) 令和元年度の維持管理（行動計画）の行動目標について〔議案 2〕

【土木建設課】

- ・（八尾市版）橋梁定期点検マニュアル（素案）を基に社会実験を実施し、今年度予定している横断歩道橋の個別施設計画の策定と合わせ、橋梁の長寿命化修繕計画の見直しを行う。
- ・高安 11 号橋（跨線橋）の撤去について地元調整を行い、今後の対応方針を決定する。
- ・これまで取り組んだ維持管理（行動計画）の取り組み内容を積極的に情報発信していく。

【土木管理事務所】

- ・日常的な要望・通報について、限られた人員のなかでの実施可能な対策を検討していく。
- ・アプリ「やおっぷ」を活用した要望・通報の受付を行い、通報制度の構築に取り組む。

【土木管財課】

- ・法定外公共物（里道・水路）の売却による財源確保に努める。
- ・将来的な老朽化が懸念される個人橋梁の総量把握に努める。

【都市政策課】

- ・まちなみセンターの計画的な補修・更新について、公共施設マネジメントによる検討を進める。

【交通対策課】

- ・自転車駐車場の計画的な補修・更新について検討を進める。

【都市基盤整備課】

- ・先行取得用地について、市職員による日常点検（定期パトロール）を継続実施する。

【みどり課】

- ・限られた財源と人員のなか、職員による個別施設計画の見直しを検討する。

【下水道管理課】

- ・八尾市公共下水道ストックマネジメント計画（実施方針）に基づく計画的な補修・更新を実践する。

(3) 令和元年度の八尾市と近畿大学との官学連携の取り組みについて

- ・「橋梁長寿命化修繕計画更新」、「横断歩道橋長寿命化修繕計画策定」(8月～3月)
- ・「舗装等個別施設計画の策定」(8月～3月)
- ・橋梁日常点検の実施(9月～12月)
- ・「(八尾市版)橋梁定期点検マニュアル(素案)」に基づく橋梁点検の実施(12月)
- ・橋梁点検の評価・検証をテーマにした「橋梁点検研修」の実施(12月)

3. 意見交換

○市民への情報発信

- ・官学連携の取組内容を積極的に情報発信していきたいと考えている。(土木建設課)
- ・そのための内外へ情報発信する資料作りが必要である。(土木建設課)
- ・事務局だけの取組ではなく、都市整備部(全体)で取組んでほしい。(宮田部長)
- ・大阪府のプラットフォームは、若者や女性中心に参加してほしい。(米田教授)
- ・市町村が取り組んでいる新しい内容を積極的に情報発信してほしい。(米田教授)

○個別施設計画の策定

- ・橋梁、下水道、公園以外についても個別施設計画を策定していく必要がある。(土木建設課)
- ・施設遊具の個別カルテを作成していく予定である。(みどり課)
- ・事故を踏まえ、職員による現場調査を実施している。(みどり課)

○情報アプリの活用

- ・アプリ「やおっぷ」等のツールを情報発信していく工夫が必要である。(東山教授)
- ・アプリ「やおっぷ」は、職員が1時間おきにチェックしている。(土木管理事務所)
- ・要望、通報は電話による対応が大部分である。(土木管理事務所)
- ・広報については、情報発信しているという自己防衛になってはいけない。(米田教授)
- ・公務員の土木技術者にスポットを当て、学生や一般市民に周知してもらう必要がある。(米田教授)
- ・広告付き案内版を4駅(近鉄八尾, JR久宝寺, JR八尾, 八尾南)で設置している。(土木管財課)

○公共下水道の情報発信

- ・下水道について、汚いというイメージを払拭する必要がある。(赤鹿部長)
- ・下水道を身近に感じてもらうため、広報とは違う観点で興味をもってもらいたい。(赤鹿部長)

○公共ストックの削減

- ・高安11号橋(跨線橋)の撤去における地元住民の合意形成は容易ではない。(土木建設課)
- ・5年、10年供用した後、通行止めにする等の対応策を検討する必要がある。(土木建設課)
- ・跨線橋は第三者被害が懸念される重要施設であり、早期の行政判断が必要である。(土木建設課)
- ・市町村任せではなく、国や府が撤去(廃止)を率先して実行すべきである。(米田教授)
- ・遊具等の撤去についても、子どもや高齢者等、時代の流れに即した対応が必要である。(宮田部長)
- ・現行の長寿命化計画には、撤去が明記されておらず、今後の計画に反映してほしい。(松井補佐)
- ・費用対効果により、延命よりも撤去が必要な選択肢であることを周知すべきである。(米田教授)
- ・公共施設マネジメントシステムを取入れ「安全・安心」を重点項目とすべきである。(吉村理事)